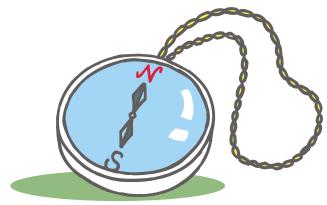


# 羅針盤



第 12 号

令和2年(2020年)7月20日(月)

## ◆ 「1度の努力」を忘れずに！

皆さんは、小学校のときには算数の授業で、中学校では数学の授業で使ったことのある分度器を知っています。角度が1度の目盛りを思いうかべてみてください。0度からほんのわずかなところに目盛りが打ってあります。普段から使っているノートに10cmの直線を引いたとしたら、1度の高さは、わずか1.7mmしかありません。1m先まで伸ばしてみると、1.7cmの高さになります。しかしながら、たった1度でも、100m先まで伸ばすと、その高さは1.7mになります。ほんのわずかな差が、人間の身長ほどになります。1km先まで伸ばすと、17mほどの高さにまで及ぶことになります。一般的な建物の4階ほどの高さ、ラグビーのゴールポストと同じ高さです。最初はわずかな違いであったものが、地道な目立たないような努力を積み重ねていくことで、長い年月を経ていくことで大きな差となって現れるものとなります。0（ゼロ）は、どこまでいっても0（ゼロ）のままでです。努力を積み重ねていかなければ、何の進展もなければ、発展もありません。1度という毎日のわずかな努力の積み重ねが大きな結果につながり、自分自身を大きく変えていくことになります。先週の半ばに、1学期の定期テスト（期末テスト）が実施されました。各教科の授業では解答用紙が返却されて、その点数結果に一喜一憂していることと思います。そして点数結果よりも、その後の学習活動が何よりも大事であることを皆さんしっかり理解しているでしょうか。自分自身が間違ったところを見直して、次回同じ問題が出題されたときには同じ間違いをしないように、意識して学習を進める努力ができているでしょうか。結果を受け止めるだけでなく、これから自分の在り方につなげていくという努力を忘れてはいけないと思います。ほんのわずかな違いが、今すぐには結果として出なくても、1週間後、1ヶ月後、そして1年後には、きっと大きな差となって現れてきます。未来の君たち一人ひとりが、この「1度の努力」を怠らずに、大きく成長してくれることを願っています。



## ◆ 三密（さんみつ）

「新しい生活様式」もすっかりと私たちの日常生活に溶け込みはじめており、新型コロナウイルス感染症を予防するための「三密（さんみつ）」（①換気の悪い「密閉空間」を避ける、②多数が集まる「密集空間」を避ける、③間近で会話や発声をする「密接場面」を避ける）に取り組むことが、日常的に行われています。この「三密（さんみつ）」は、意味が大きく違ってきますが、仏教では古くから使われている言葉だそうです。空海（弘法大師）が教えを開いた真言宗では、「三密（さんみつ）」は身密（しんみつ）、口密（くみつ）、意密（いみつ）のこと、「身」は行いに関して手洗いの励行と身勝手な行動を慎むこと、「口」はうがいをしっかりと行い悪口や差別を口にしたりネットに書き込まないこと、「意」は不安な中でも自分自身の心を見つめ直してマスクをするなどの他人への気配りや医療関係者への感謝の気持ちを忘れないことが大切であると教えてくれています。今一度、この「三密（さんみつ）」に目を向けて、残された1学期を有意義なものにしてほしいと思います。

